

ロータリー特別月間 11月：ロータリー財団 12月：疾病予防と治療

11月9日・10日 例会对応

『 2024—25 年度地区大会 開催 』

第2820地区 地区大会は
大高司郎ガバナー主宰のもと
11月9日 会長幹事会
11月10日 本会議
高萩ロータリークラブをホストクラブに
盛大に開催され、大成功裡に終了する。

2024年1月大高司郎ガバナーエレクトが、ご夫妻で米国フロリダ州オーランドの国際協議会に参加して以来、本格的に取り組んできた、2820地区大会が、9日会長幹事会、翌10日曜日、小春日和の晴天に恵まれ、日立市池の川さくらアリーナで開催され、大成功裡に終了した。

第1日は、日立駅前、ホテル テラスザスクエア 日立で会長幹事会を開催、第2日本会議は、大震災後新築された会場に前田直俊 RI 会長代理（坂出東 RC）を迎え

「輝こうロータリーと共に2820」をテーマに直前までの全56クラブ公式訪問、地区親睦野球大会、ライラセミナー、世界ポリオデー地区集会に続いて開催。

高萩ロータリークラブは、この2か月間、クラブ創立以来の大変多忙な、また重要な活動を展開、大高ガバナー、鈴木啓志実行委員長、今川隆会長を先頭に、ホストクラブとしての重責を遂行することができた。

地区大会は、経費節約に努めつつ、一般市民も含め約1000名が参加し、内容も充実し大きな成果を上げて終了した。



上 池の川さくらアリーナの本会議場ステージ
本会議場の特設ステージは、8日に東京企画がスタッフを動員して構成し、9日には司会者のリハーサルを繰り返して準備を整えた。中央が演台、右は、前田直俊 RI 会長代理席、左が大高ガバナーご夫妻席である。

左端に司会者席があり、当クラブから菱川健司会員と水戸西 RC 柴原千恵子会員が務めた。進行のディレクターと映像は東京企画にお願いした。

10日本会議は午前7時、会員はさくらアリーナに集合受付等を準備、第1分区会員の協力をお願いし、8時日立 RC 会員が受付を開始した。運動公園駐車場にはガードマンを配置、県下各地から会員の到着を待った。

月 日	プログラム	担 当	11月10日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
11月13日	休会 衛星クラブ結成祝賀会	会長・幹事			
11月20日	出前卓話 ロータリー財団ト	ロータリー財団委員会	29	24	5
11月27日	休会		出席率: 83%		
12月4日	年次総会	会長 幹事	前々週訂正: 100%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内

会 長：今川 隆
幹 事：滝 徳宗

TEL/FAX：0293-24-0505

例 会：第1・2・3 水曜日 12:30～13:30

■URL：https://www.takahagirc.jp

公共イメージ向上委員会：石平光 石君平 田所和雄

■E-Mail：takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

小森勇一 和田昌也 秋山順弘 平野浩司

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

地区大会第1日 会長幹事会

9日、第1日目は、本年度第1回 会長幹事会。

ホテル テラス ザ スクエア 日立、2階のスクエアルームを会場に開催。200名の参加を想定、ステージを作らず、スクール形式として、いすを並べて、密集した会場となった。全席座席指定として、午前中に指名名札を張り付け、狭い会場ながら、困難なく着席を完了した。

その結果、スピーチがよく届き、効果的な協議の進行ができた。司会は高萩 RC の新進の鈴木淑登会員が行った。

午後1時受付、登録を開始、日立ロータリークラブが担当してくれた。午後1時55分、RI会長代理を迎え、大高ガバナーの点鐘で開会した。

国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想に」に続いて鈴木啓志地区大会実行委員長が歓迎挨拶を述べた。



その後、大高ガバナーの挨拶、所信表明が10分間、続いて前田直俊RI会長代理（坂出東RC）が、30分の挨拶とポリオ根絶活動の実践等についてお話しされた。

高萩ロータリークラブのホームページに掲載されているポリオに関するアニメーション動画は、2670地区で前田ガバナーの実践による結晶であり、当クラブでは掲載を承諾していただいている。そうしたご縁がある。

第1日の協議で重要手続きは、信任委員会の決議とその承認である。短時間ではあるが、登録委員会、資格審査委員会、選挙管理委員会、地区大会の決議委員会から審議内容の報告があり、いずれも承認された。これについては10日の本会議に報告され、承認された。

続いて、15時10分、2023-24年度の会計決算報告、監査報告があり、満場一致承認を受けた。

会議は5時には、予定時間通りに終了した。

なお、御岩神社等をめぐる、友好地区の皆さんのエクスカーションも並行して実施された。この接待案内には、北茨城RC、日立港RCが担当し、大変なご協力をいただいた。



上 点鐘する大高司郎ガバナー

前田直俊 RI 会長代理歓迎晩餐会

18時からRI会長代理歓迎晩餐会である。

240名の出席を予定し、会場を3階のテラスボールルームに移し、前田会長代理他海外友好地区の皆さんをお迎えした。

まず、ヴァイオリンを主とする弦楽四重奏の華やかな演奏で主賓を迎え、歓迎のあいさつに続いて、アトラクションは、今年度テーマにあやかり「マジック of ロータリー」、最強の魔術師と評判のDr.レオンの登場とした。



司会は、引き続き鈴木淑登会員が務め、短い時間ではあったが和やかな懇談ができた。

実行委員会第4部会滝徳宗委員長を中心に企画が適切で、華やかな歓迎晩餐会となった。午後の会議の充実と緊張感と、両方がうまくかみ合い、第1日の成功をもたらしたといえるだろう。



地区大会 第2日 本会議 日立市池の川さくらアリーナ

2011年東日本大地震で被災し、2017年新築されたアリーナ。高萩でなく日立市であり、第1分区の全クラブの協力と支援をいただき開催した第2日本会議。

早朝6時自宅から、また日立市内宿泊者も会員は午前7時アリーナに集合。準備を開始する。

県下55クラブから集まるので、バスの駐車場を確保、誘導ガードマンを10名依頼し、その他、地元クラブにお願いし特設駐車場で降車していただいた。

隣接のグラウンドで少年団のサッカー大会があり、交通ルール順守を要請していたが、大過なく開会となった。

本会議 9:00~13:00

約1000名の参加者が広い会場に、各分区毎に着席、ステージ左端には、司会者、菱川健司会員(高萩)、栗原智恵子会員(水戸西RC)が登壇。

9時ちょうどに、大高ガバナーが点鐘、開会した。その後はプログラムに従い恒例により、友好地区のタイ王国国歌、フィリピン共和国国歌、ネパール国国歌を斉唱、続いて日本国国歌を斉唱した。



大会の開催にあたって、茨城新聞へ1面広告を掲載しているが、今回は10月27日開催の「世界ポリオデー2820」イベント写真、高萩RCの出前授業、奉仕活動写真を掲載。24年11月9日の7面全面広告で発表した。

参加クラブ紹介では、最後にホストクラブ、高萩ロータリークラブの紹介があり、会場前方に横一列に集合、歓声を挙げた。続いて、今川隆会長が登壇し、歓迎の挨拶を述べた。

ホストクラブとして大会運営を実行していることがまさに「茨城のロータリーの伝統と実績が生

んだ「ロータリーのマジック」だと力強く強調した。

ガバナー挨拶・RI 会長代理メッセージと報告

国際ロータリー ステファニーA.アーチック会長は、冒頭、ビデオあいさつで、簡潔に地区大会の意義と活力を強調し、祝福しました。

それを受け、大高ガバナーの挨拶と所信表明を行った。「輝こうロータリーと共に 2820」というテーマのもと、全会員が集合する機会を生かし、互いに学び、さらなる成長と発展を目指したいと強調された。

続いて、国際ロータリーから会長代理として派遣された、2670地区パストガバナー、四国坂出東ロータリークラブの前田直俊会長代理の30分の挨拶と講演である。

前田様は、第3地域(西日本)ポリオ根絶コーディネーターでもあり、その優れた実践についても話された。ユーモアを交えソフトな語りで、国際ロータリーの現状や、ロータリーの意識向上を目指す講演をいただいた。



上 大高ガバナーご夫妻から会長代理に記念品贈呈
来賓祝辞と表彰

10:40 来賓として招請した、大井川和彦茨城県知事(代理として岩下泰善副知事) 大部勝規高萩市長のご挨拶があり、続いて大会記念事業として茨城県国際交流協会等への目録贈呈を行った。

贈呈は、茨城県、高萩市、茨城県ボーイスカウト連盟に対して実施した。

続いて各種表彰である。国際ロータリーの表彰は、ロータリー賞を地区内全クラブが受賞した。次は地区の表彰があり、高萩ロータリークラブは、ガバナー特別賞の「参加者の基盤を広げる部門」、

「会員増強スタートダッシュ賞」の2部門で受賞した。



これは、今川隆会長、滝徳宗幹事の、スタッフの熱意と努力のたまものであり、ホストクラブの重責に応えるものであり、皆さんで祝福したい。

記念講演 青山学院大学

陸上競技部監督 原 晋 先生

「サラリーマンの大逆転—箱根駅伝優勝までの道のり—」

正午から1時間、高名な原監督の記念講演である。実行委員会は市内の高校に参加依頼をしていたが、一般市民が参加、アリーナの2階席に約170名の自由参加があり、ロータリーの会員と共に拝聴した。

全日本大学駅伝選手権大会が先週終わったばかりでお疲れと存じたが、先生は用意された昼食も取らずに熱意溢れる口調で講演された。

13:00 大高ガバナーの謝辞があり、点鐘で閉会した

大懇親会

続いて会員は隣のサブアリーナに移動、昼食もかねて、参加者全員の大懇親会となった。

司会は今川隆会長、滝徳宗幹事。まず恒例の鏡割り。大高ガバナー、前田 RI 会長代理、高橋賢吾会長代理エイド、友好国代表の来賓が登壇、日立北 RC 森嶋会員の森嶋酒造の「富士大観」の4斗樽を前に、2日間の大会終了を祝し、盛大に鏡開きを行った。

大懇親会は、始め仮設テントも想定したがサブアリーナの使用が可能となり、ホテル テラスザスクエア日立のスタッフを大動員し、当日準備、13時20分には予定通り開宴できた。



15時まで、全会員和やかに歓談。地区大会の大成功を祝福した次第である。

前田直俊 RI 会長代理は四国から3人でおいでいただいたが、懇親会終了後、新幹線で戻られた。

県下各地から、バスで来訪をお願いして大会開催となったが、順次、帰宅を急ぎ、事故なく終了することができた。

下は、懇親会終了後、高萩ロータリークラブ関係者の記念写真である。



鈴木啓志実行委員長 あいさつ

天候に恵まれ、無事2日間の大会が大成功の裡に終了できました。心から感謝と御礼を申し上げます。

大高ガバナーがエレクト就任の段階から実行委員会は活動を始めました。去年は、日展審査員や書道界の役職で皆さんにお願いすることばかりでしたが、大変なご協力をいただき、見事に地区大会を実行できました。

私は、ロータリー歴在職35年になりますが、どの地区大会と比べても最も素晴らしい大会を実行できたと思っています。皆さん本当にありがとうございます。心からお祝いと御礼を申し上げます。

大高司郎ガバナーの謝辞

高萩ロータリークラブの皆様、第 2820 地区、2024 - 25 年度地区大会に際し、ホストクラブとして多大なるご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

ホストクラブとしての温かいおもてなしと円滑な運営のもと、参加者一同有意義な時間を過ごすことができました。

特に、原 晋監督による記念講演を市民にも開放するなど、地域と連携した工夫あるプログラムは、大会テーマ、

「輝こうロータリーと共に2820」

を見事に体現するものでした。

貴クラブの結束と献身に改めて敬意を表しますとともに、ともにロータリーの未来を築いてまいりましょう。

今川隆会長の挨拶

11月になってからの準備、8日金曜日の会場づくり、そして海外友好地区来賓を迎えてのウェルカム・パーティ、9日、10日の地区大会と、すべて終了し、参加者の皆さんから大成功と評価とおほめをいただきました。

会員の皆様と共に、大会を無事完遂させましたことをお祝いいたします。

そして心から、会員の皆様のご協力に感謝と御礼を申し上げます。

私たち高萩 RC は1970年23名のチャーターメンバーで創立、今年度は55年目であります。小さなクラブですが、第1分区を始め当地区の皆様を支えられて歩んでまいりました。

そして今日、大高司郎会員がガバナーを拝命し地区大会を大成功の裡に実行できました。そのこと自体、まさに茨城のロータリーの伝統と実績が生んだ、「ロータリーのマジック」の実現だと考えます。

この重要な時に、ホストクラブの会長に指名され、全会員、力を合わせ、若い会員も先輩会員も3役も4役も担って、大会を実行してまいりました。まことに大変な活躍でした。

私は1971年高萩ロータリークラブ創立年度の誕生です。そして今回、大変大きな仕事を実行できましたことは、歴史の偶然というか、これもロータリーのマジックの成果と考えます。

会員各位の献身とご協力に感謝し、心から御礼を申し上げます。

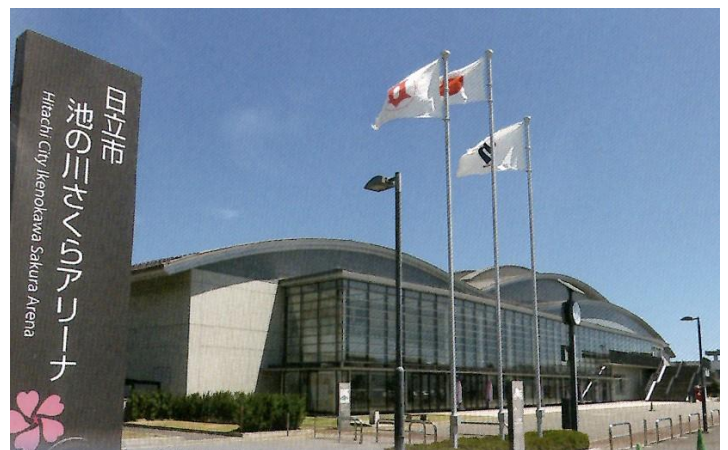
メイクアップ

地区大会 実行委員会関係担当

鈴木 啓志	鈴木 国男
小谷松政紀	江尻 寛
小森 勇一	大高 司郎
石 君平	田所 和雄
石 平光	鈴木 直登
大河原 浩	今川 隆
菱川 健司	平野 浩司
大平 敏明	和田 昌也
滝 徳宗	滝 義昭
秋山 順弘	生田目雅之
鈴木 淑登	作山 太一
石川 彰信	
高橋みよ子 (事務局)	

実行委員会に参加協力いただいたクラブ

日立ロータリークラブ
日立南ロータリークラブ
北茨城ロータリークラブ
日立港ロータリークラブ
日立北ロータリークラブ
日立中央ロータリークラブ



10日 本会議 会場 日立市 池の川さくらアリーナ